

2010 温暖化ストップ! フェア in ひろしま

当会は、ホールの一隅にブースを設け、「TEAM MATEひろしま」に属する22地域協議会の活動を紹介するパネル類の展示や公衛協が実施した「環境啓発ポスター・標語コンクール」の入賞作品23点の展示を行った。

また、ステージでは、来年1月に開催する「エコレシビ」フェスタでの「エコレシビ」オーディションの中間発表と、エコのみ焼きコンテストの取り組みをアピールした。さらに、環境省補助事業として実施している「CO2削減実践のスペシャリスト養成講座-エコフォワード8研-」の受講生による省エネ診断コーナーも運営した。

このコーナーは、受講生が一般の来場者に対して「家庭からのCO2をもっと削減しませんか?」「家計のためにもなる省エネをもっと進めませんか?」などと声をかけ、診断ブースに呼び込み、パソコンを用いながら対話形式で診断を行うというもの。

まず、日ごろ取り組んでいる家庭での省エネ対策や1カ月の電気代・ガス代・灯油代などを聞き出し、それらの情報をパソコンに入力。パソコン上には、自分の住む地域の平均値(今回



専用の用紙を使い、参加者のライフスタイルをヒアリング(上)ヒアリングしたデータをパソコンに入力すると、バランスシートでシーン別の省エネレベルが表され、これをもとに省エネのアドバイスを行なう(右)

は広島市)との比較や家庭から1カ月間に排出されているCO2量が示される。また、買い物、掃除洗濯、台所など生活のシーン別の省エネ度がバランスシートに示され、削減余地がどこにあるか一目でわかるようになる。さらに、より一層のCO2削減を目指すための具体的なメニューが示され、それらを実行した場合のCO2削減量とそれに伴って軽減される家計も具体的な金額として示される。

受診者は、診断結果が印刷された用紙を持ち帰り、

家庭での取り組みを進めていく。

今回は、省エネ診断の一環として、1カ月間の省エネ取り組み、そのデータを提出した家庭には、省エネグッズ(プランケット)を進呈する企画を実行した。診断は約70人が受診し、そのうち50人余りが省エネチャレンジに申し込んだ。

なお、来場者にもれなく県が作成した環境家計簿機能付き「エコカレンダー」を配布し、家族で取り組めるエコ活動を啓発。また、会場内で消費した電力量に係るCO2排出量の一部を相殺するカーボンオフセットを行うなど、イベントそのものを低炭素で行うことにも配慮した。

今後、センターでは「エコレシビフェスタ」を平成23年1月28~29日に、「地球温暖化防止活動推進員フォーラム」を2月26日に開催する予定で、脱温暖化のまちづくりに向けてより一層の情報発信を行っていく。



「知って得する!省エネLABO!」と題して、企業や市民団体が地球の温暖化に関するさまざまなパネルやグッズ、省エネ家電などを展示。来場者は、地球温暖化に関するパネルを見て学びながら、最新の省エ

環境保健協会と 国・県・市が共同開催

「つながるエコのわ」をテーマにしたイベント「2010温暖化ストップ!フェア inひろしま」が十月三十一日に基町クレド(広島市中区)で行われた。主催は中国経済

産業局、広島県、広島市、当会など。イベントは、一階のクレド前広場と十一階のホールおよびホワイエの二カ所の会場に分かれて行われた。時折強い雨に見舞われる悪天候

の中、約四千人が来場し、企業や市民団体が地球温暖化防止の取り組みをアピールした。クレド前広場の特設ステージでは、クラリネットアンサンブルによる開会セレモニー

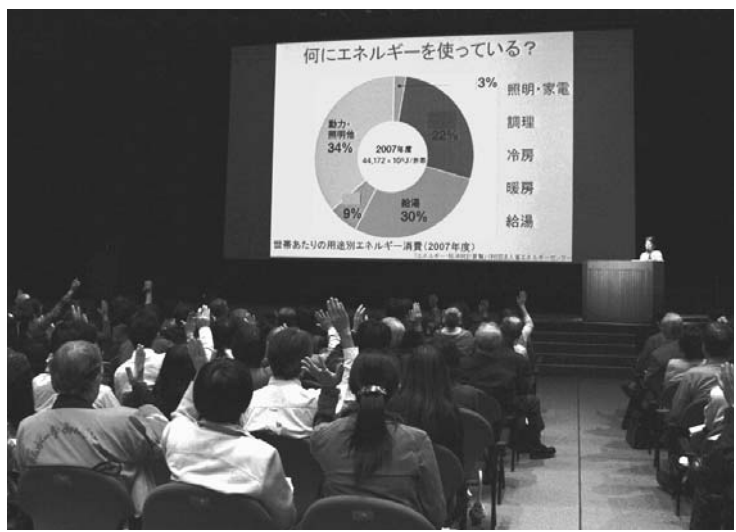
の後、主催者を代表して県環境県民局の抹香尊文局長が挨拶され、その後は、広島環境サポーターネットワークや企業の社員らによるリレートークが行われた。

「つながるエコのわ」をテーマに4千人

地球温暖化対策の最新情報を県民に届ける



ホワイエとホールでは「知って得する!省エネLABO!」と題して、企業や市民団体が地球の温暖化に関するさまざまなパネルやグッズ、省エネ家電などを展示。来場者は、地球温暖化に関するパネルを見て学びながら、最新の省エ



「真に持続可能な社会を目指して、~わたしたち一人ひとりに出来ること~」を講演する枝廣氏。演者と来場者との活発なやりとりなどが見られた

家電や高効率給湯器を体験した。また、造形作家の亀井由美子さんが再生紙でつくった巨大なエコ恐竜の展示やふるしきエコ教室、自転車発電機をこいで扇風機を動かす消費電力を体感できるコーナーなど、親子連れでも楽しめる内容であった。

ホール内のステージでは、「ひろしま地球環境フォーラム会員取組発表」と題して、中国電力株式会社によるメガソーラー発電への取組発表を皮切りに、低炭素社会構築への取組みや環境保全活動による社会貢献など、さまざまな環境に関する事業や活動に関して計八社から発表があった。また、広島市地球温暖化対策地域協議会による「川柳の表彰式」も行われた。

その後は、「不都合な真実」の翻訳者として有名な環境ジャーナリストの枝廣淳子さんによる講演「真に持続可能な社会を目指して、~わたしたち一人ひとりに出来ること~」へと続いた。

講演の中で、「我々が生きる現代社会は、生物多様性の喪失と地球温暖化というかつてない大きな課題に直面していること」、「石油の産出量がピークに達し、今後、減少していく時代を実現するにあたって、人の暮らしや企業のあるり方も変えていく必要があること」、「将来に迎える理想の世の中を迎えるために、今なすべきことを計画していくこと(バックキャスト)の考え方」などが語られた。また、「日本は技術力だけではなく、価値観やライフスタイルにおける先進国になっ ていくべき」との言葉に会場は納得した。

最後を飾ったのは気象予報士の波田健一さんの講演「はじめよう、地球を救うのは私たち」。気象予報士の目から見た広島県での温暖化による影響をわかりやすく解説。熱いトークと、時折クイズを交えながら具体的な数値を示すことで来場者の心をつかんだ。これらの講演で、約三百席の会場はほぼ満員となった。

職場環境は快適ですか?

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド(ホルマリン)について、作業環境測定を行う必要があります。当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先 ○ 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (財)広島県環境保健協会 環境生活センター 環境調査課 TEL: 082 (293) 1511 (大代表) FAX: 082 (293) 5049 URL: http://www.kanhokyo.or.jp/

